



NEWS

2010 No.228

3月号

全国整備工場の皆様へNGP組合員200拠点がお届けするお役立ち情報

自動車整備で環境負荷低減

ユーザーにひと声かけて整備需要を掘り起こせ! 国交省の検討会が、近くエコ整備の指針を発表

言葉が先行している観がある「環境整備」、そろそろ本格的な取り組みを始める必要があります。

現在、日本で走っている自動車は 7800 万台あまり。

すべてをハイブリッド車や電気自動車の次世代環境自動車に切り替えるには時間がかかります。

使用中の自動車を整備して、「今できるエコ」をお客様に勧めて整備入庫を促進することも

地球温暖化防止のために大切な取り組みになるとは思いませんか。

国土交通省は「自動車エコ整備に関する調査検討会」で、自動車のメンテナンスを通じて二酸化炭素 (CO₂) の排出削減につなげるエコ整備の方法を進めてきました。近くこの指針が発表される見通しです。

検討会は、①エンジンオイルおよびオイルフィルタの交換、②スパークプラグの交換、③エアクリーナ/エレメントの交換、④タイヤの空気圧調整の 4 項目をリストアップし、どれだけの効果があるかについて実車を使って試験し、燃費効果をまとめました。

スパークプラグの交換は燃費向上に影響はなかったのですが、残り 3 項目を実施することで、最大 5.84% の燃費改善が可能になるとの結論に至ったそうです。指針はこの検討結果などに基づいてまとめられます。エコ整備へのユーザーの関心も高まることになりそうです。

自動車保有期間の長期化にともなって整備需要は増加傾向にあります。その一方で、人口減少による整備顧客流出の悩みや大手ディーラーなどとの厳しい競合関係などといった事業の根幹に関わる課題があります。一般的に顧客減に対応するには、しっかりした顧客管理を実施して繰り返して来店してくれる顧客、つまりリピート客を増やすことだと言われています。

「環境整備」といいますと難しく感じますが、エコ整備はこのリピート客作りに欠かせない道具でもあるのです。

例えば、整備に関わっている人であれば、タイヤの空気圧を適正に保てば燃費が良く

なるということは常識として知っています。ところが現状を見ますと、高齢者や家庭の主婦層などはうっかりしたのか、確認していない人が多いのです。20% ほどの低圧にしたタイヤを適正に戻せば 1~2% 弱の燃費改善効果を生むそうです。繰り返し注意

してタイヤの空気圧を見てあげるとい空気圧調整は、サービスにならざるを得ないかもしれませんが、リピート客ができ、定期的なエンジンオイルの交換やエアクリーナの交換などの自動車整備につながっていくものと考えてはどうでしょうか。

今回の検討会では取り上げられませんが、エンジン洗浄も CO₂ 排出削減に効果があると認められ、政府が指定するグリーン購入の対象になっています。もっともエコドライブのテクニック伝授などで顧客をフォローすることも欠かせないことですが、信頼を得ればエコタイヤをはじめとしたエコグッズの販売にもつながります。

これだけ環境問題が騒がれますと、やはり自分もエコユーザーでありたいと思う人は多いものです。高齢社会は自動車整備にとって悪いことばかりではありません。分別をわきまえた高齢ドライバーも増えており、エコ



環境への優しさを看板にする整備工場が増えてきた

整備に納得すればメンテナンスに賛同してくれるからです。

では、こうしたエコ整備をさらに進めるためにはどうしたらよいでしょうか。家電などで馴染みの「エコポイント」ができればいいと思いませんか。実際、整備に関わる CO₂ 削減に関わるデータベースを用意して、エコポイントを始めようという動きも出てきています。時間はしばらくかかりますが、「2020 年までに 90 年比で 25% 削減」という政府の掲げた温室効果ガス削減目標に向かって、自動車整備分野でも徐々に広がる可能性は大きいのです。

もちろん NGP 協同組合が提供するリサイクル部品も、修理時の CO₂ 排出削減につながるエコ部品です。リサイクル部品を使うことで、どのくらい CO₂ 排出が減ったかのデータをまとめ、利用別に提供する準備も進めているところです。

低燃費タイヤ普及のための「ラベリング制度」 タイヤ協会加盟全社でスタート

エコ商品を分かりやすい表示でユーザーに販売促進する試みが、タイヤ販売でも始まりました。今年1月から日本自動車タイヤ協会（JATMA）が業界の自主基準で始めた「ラベリング（表示方法）制度」がそれです。エコタイヤが「ラベル表示」でわかります。



今年の3月から日本ミシュランタイヤもラベリング制度を実施することになりました。年明けにスタートしたブリヂストン、横浜タイヤ、さらに住友ゴム工業、東洋ゴム工業も続いており、ミシュランの参加でタイヤ協会加盟の全メーカーがラベリングを始めました。このラベリングについて欧州では2012年に始めることが決まっており、日本のタイヤメーカーはこれを先取りし、自主基準による取り組みを始めたのです。

対象は販売店の店頭で売られる乗用車用夏用タイヤです。転がり抵抗係数（RRC）を「6.5以下」から「10.6以上12.0以内」までの5段階に分けて、「AAA」から「C」で表示します。同時にウエットグリップ性能（G）についても「155以上」から「110以上124以内」の4段階に分け、こちらは小文字を使って「a」～「d」で表示します。

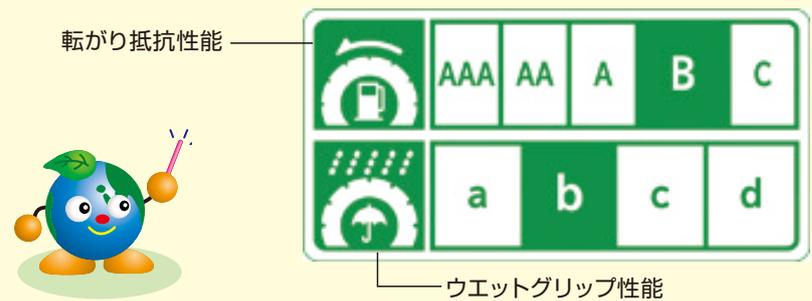
タイヤに対して、転がり抵抗係数のグレードが「AAA」「AA」「A」であること、ウエットグリップ性能については「a」～「d」の範囲であれば、低燃費タイヤと定義して、低燃費タイヤマークを付けて販売するようになっています。タイヤのカタログにもこのラベリングが表示されるようになります。

タイヤの転がり抵抗は、①タイヤと路面とによる接地摩擦、②走行時のタイヤ変形、③タイヤの回転に伴う空気抵抗一で構成されます。このうちタイヤ変形が転がり抵抗に大きく影響し、9割程度の要因になっているといわれ、この削減にタイヤメーカーがしのぎを削っているわけです。一方で、グリップ力もしっかりしていないと、雨の日の運転では不安になります。転がり抵抗とグリップ力は相反する性能でもあるため、ウエットグ

《表示例》



低燃費でないタイヤの場合



リップ性能についても合わせて表示してあります。

実際、エコタイヤはどのくらい燃費向上に寄与するのでしょうか。前に進むとする自動車の駆動力に対してタイヤの転がり抵抗だけでなく、空気抵抗、加速抵抗も生じて負担となり、燃費に影響します。他の要素を取り除くと、タイヤの転がり抵抗の燃費に及ぼす影響は一般市街地走行で7～10%だそうで、転がり抵抗を20%減らすことで2%の

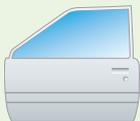
燃費改善につながるとされています。

これを「わすか」と考えるのか、地球温暖化防止に必要なことと考えるのか、徐々に後者のユーザーが増えてきたために、ラベリング制度が実施されるようになったと考えるべきでしょう。

単なる商品開発だけにとどまらず、分かりやすく表示することで、ユーザーも購入しやすくなり、エコタイヤの普及を加速させそうです。

NGP 今月のCO2削減量

リサイクル部品利用にともなう削減効果



NGP 22年1月: **6,404 t** NGP 1月からの累計: **6,404 t** (全12団体 1月からの累計 **11,255t**)

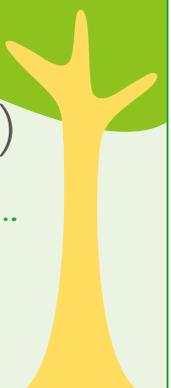
※ NGPをはじめとしたリサイクル部品販売事業 12団体は、グリーンポイントクラブを作り、リユース部品、リビルト部品を利用することで達成できたCO₂の削減量を利用者の皆様にお知らせしています。ご協力ありがとうございます。

リターナブル梱包材利用にともなう削減効果



NGP 22年1月: **5.4t** NGP 1月からの累計: **5.4t**

※ リターナブル梱包材の利用にともなう削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出削減の取り組みです。ダンボールに変えて、専用梱包材を200回繰り返し使用することで削減効果を試算しました。



2010年はカーシェアリング元年

大手企業の相次ぐ参入でステーション、車両、会員倍増

「カーシェアリング」という言葉を頻繁に聞くようになりました。

1台のクルマを何人かのユーザーが共同利用するサービスで、提供会社も増えています。

自動車に関して「所有」から「使用」する時代へとユーザー意識が変わると言われます。変化の波の大きさを探ってみました。

2010年は「カーシェアリング元年」となるそうです。昨年はパーク24、ガリバーインターナショナルなど、大手企業が相次いでこの分野に名乗りを上げ、この分野への参入企業も30社を超えて、シェアリングされる車両数も2倍以上になりました。大手企業の事業計画などを見ると、今後急激に拡大することが見込まれます。それが「カーシェアリング元年」といわれる理由です。

交通エコロジー・モビリティ財団のまとめでは、今年1月時点でカーシェアリングの車両ステーションは前年比2.4倍の816拠点、車両数は同2.3倍の1300台になっています。またこうした車両を利用するカーシェアリングの会員数も1万6177人と前年に比べて2.5倍に増えています。

また、大手事業者は2～3年のうちで1000台、2000台の規模でカーシェアリングの車両数を拡大する計画を持っています。

カーシェアリングは、「サービスを実施する地域」が成功するかしないかを左右するともいわれます。例えば都心部ではサービス転換するケースが多く、都心の高層マンションでは戸数分の駐車スペースを設けることができないため、新たな住民サービスでカーシェアリングを取り入れるところが出てきています。

主なカーシェアリング事業者の現状と将来計画

企業名	事業名	事業規模	将来計画	備考
オリックス自動車	オリックスカーシェアリング (1999年9月)	248拠点330台 6500会員 (2009年9月のデータ)	2013年までに 2000台5万会員	EVの共同利用実験で参入、商品名を「ブチレンタ」に統一
カーシェアリング・ジャパン	カレコ・カーシェアリングクラブ (2009年1月)	105拠点110台 1100会員	2013年700拠点 1千台以上1万会員	三井物産系、野村不動産と提携
マツダレンタカー	カーシェア24 (2005年2月)	133拠点240台 4026会員	2014年4000台	パーク24がカーシェア事業を含めて2009年3月にマツダレンタカーを買収
ガリバーインターナショナル	レオガリバーカーシェアリング (2009年11月)	117拠点117台 会員募集中	2010年3月までに 300台	レオバレス21との提携事業、09年4月にGulliverカーシェアメイトで参入
ウインド・カー	Windcar (2005年3月)	52拠点56台 650会員	-	全日本ロータス会員が展開

※2010年1月時点で50拠点以上のステーション数を持つ事業者。事業規模のデータは交通エコロジー・モビリティ財団まとめ。計画は報道ベース。

電気自動車をシェアリングすることにより、マンションが環境にやさしい住環境であることの宣伝材料にしているケースもあるそうです。アウディが入居を決めた商業施設との複合マンションでは、住民のためにアウディ車のカーシェアリングを行うことも検討されています。課題は多いとの指摘もありますが、カーシェアリングは広がりを見せ始めています。

ところで市場はどのくらいになるのでしょうか。オリックス自動車の三谷英司社

長は記者会見の席で、「カーシェアリングのマーケットはどれほど拡大しても4～5万台。自動車生産台数に比べればごくわずかなものだ」と発言しています。逆に、若い人がクルマに触れる機会が増え、クルマを所有したいとの刺激を与えると見ています。

この予測が当たっていれば、旅行先でレンタカーを利用する人が増えたように、カーシェアリングと自動車保有が共存することもできそうです。

認知機能で不安を抱える高齢ドライバーは約3割

警察庁の実施状況報告結果

警察庁は道路交通法の改正で、昨年6月の運転免許更新時から75歳以上の高齢ドライバーに実施している講習予備検査（認知機能検査）の実施状況（09年6～11月の6カ月間）をまとめました。制度の本格的な実施は昨年12月からです。

それに先立つ6カ月間の受検者はおよそ28万人。このうち「第1分類＝記憶力・判断力が低くなっている者」（第1分類）と「記憶力・判断力が少し低くなっている者」（第2分類）を合わせると28.9%に達し、「記憶力・判断力に心配のない者」（第3分類）は71.1%にとどまりました。

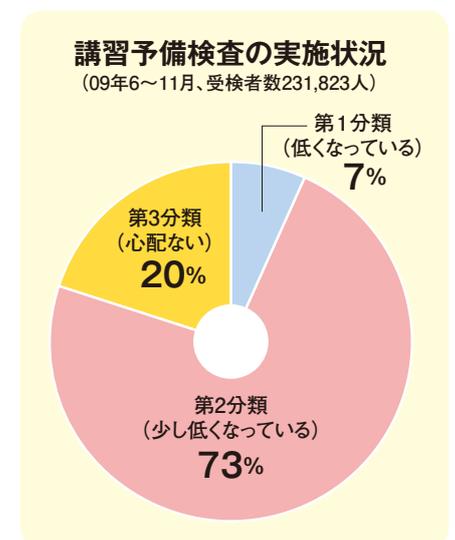
認知機能には個人差があり、80歳近い年齢の方でも40歳代の運転ができる人も

います。その反面、著しく認知機能が低下している高齢者がいることも事実です。

講習予備検査は自信がないと受けにくいもので、強制されるようになると、第1分類、第2分類に入る高齢者は増加するかもしれません。

一方、受検者に運転状況のアンケート調査をしたところ、回答した4299人の中で「自信がない」と答えた方は177人でわずか2.8%にとどまりました。逆に「自信がある」と答えた人は29.0%、残りは「普通の高齢者と同じくらい」と思っているそうです。

これらの結果で、本人の自覚と現実がかけ離れているとの不安も生じます。車がないと生活ができない地域は増えていますが、適切



なアドバイスをすることが「親切」になるのかもしれませんが。

第5回フロントマンSTEP UP 研修会

自動車ボディー構造と板金修理の最新知識習得で新境地

第5回フロントマンSTEP UP 研修会が2月15、16の両日、静岡県裾野市のあいおい東富士研修センターで開かれました。STEP UP 研修会のカリキュラムは、前年の研修内容を踏まえて進化を続けています。

電話対応のロールプレイングや利益構造の学習などに加えて、前回から車体構造と修理技法に関する板金基礎知識が加わりました。この板金基礎知識の飲み込みを容易にするため、自動車の車体構造についての講義も



物理の基礎知識、紙片を引っ張ってどこで切れるかを学んだ

充実しています。講師の話では、トヨタ自動車では超高張力鋼板をボディー骨格のどこに使うか、常に探っているところだそうで、そうした最新のボディー構造についての講義を受けました。

「車体構造と復元修理技法は大変勉強になりました。ふだん、お客様はどのように考え、私どもに依頼をしてくるのか、そしてどのような過程で修理をしているのかを学びました」(リ・パーツ坂井自動車・西村剛さん)。「自動車の車体構造と修理技法、ボディーの構造はまったく知識がありませんでしたので、ひとつひとつの言葉が初めて聞くことが多く、とても勉強になりました。材料や骨格など今後は違うところからお客様と話してみたいです」(アートパーツ長野・内川浩二さん)などと明日の接客につながる講義になりました。



実車があるからボディー構造、板金修理も分かりやすい

ロールプレイングを通じてプロ意識の大切さを学んだオートリサイクルナカシマの宮崎義幸さんは、「私はお客様から信頼されるように名前を売り込んで、10件以上指名されるようにします」と誓いました。クレストパーツ中村解体の平野孝志さんは、「自分の立てた目標金額を達成できるように、見積もり保留分のフォローの徹底と販売促進の戦略を考え行動します」と決意しました。

中国大使館、文参事官を理事会に招き勉強会

2月23日、NGP 協同組合理事会に合わせ、本部会議室で在日中国大使館に昨年12月に赴任した文徳盛参事官とNPO 法人世界の的中田選理理事長を招き、中国自動車リサイクル事情に関する理事会の勉強会を開きました。

文参事官によると、中国ではサーズ事件で感染防止のために移動手段としての自動車が目立つようになり普及が急増。その結果、今後数百万台単位で毎年廃車が発生するようになり、自動車リサイクルに関する技術移転が求められている状況にあるそうです。

また、中国の内需拡大には経済的な波及効果が高い自動車産業が大きく貢献しており、中国政府も自動車産業を重視する姿勢を変えていないということでした。

NGP 協同組合は寧夏回族自治区と自動車リサイクルに関わる協力で覚書を交わしています。文参事官もその場に立ち会っており、昨年、自動車リサイクル関係の法律が整備されたなかで、それに先んじて相互の協力関係が出来上がっていたことは格好のタイミングだったと振り返りました。

NPO 世界の的中田理事長もこれまでの中国



歓迎会に続き、文参事官(写真中央)を招いて中国事情を勉強した

交流の経験から「中国は先鞭を付けたものが優位に立つ」などと指摘、日本の自動車リサイクル業界のリーダーとしてNGP 協同組合の役割を期待していると言っています。

エコブリッジ(青森県八戸市)の東北自動車

第2回ABAグリーン賞を受賞

エコブリッジ(中里明光社長、青森県八戸市)の自動車整備部門、東北自動車が提案する環境配慮型自動車整備「グリーンメイド車検・自動車整備」が、青森朝日放送(ABA)主催の「第2回ABAグリーン賞」を受賞しました。2月23日に青森市のABA本社で表彰式が行われました。

グリーンメイド車検・自動車整備は、自動車整備に利用する電力を日本風力発電が供給するグリーン電力でまかなうとともに、エ

コオイル、エコタイヤなど自動車の環境性能を高める製品や製造に関わるCO₂排出を削減した修理部品を選んで、地球環境に優しい自動車整備・修理を行うものです。もちろんエコブリッジを通じてNGP 協同組合のネットワークから修理時のCO₂排出削減につながるリサイクル部品を調達しています。

グリーン電力を使用した車検は、通常の車検に比べて1台当たり平均1.18kgのCO₂排出削減になるそうです。こうした東北自動



賞状を受け取るエコブリッジ/東北自動車の中里社長

車の試みは、地球温暖化防止に必要なことだとして、昨年、経済産業省が推進する「環境配慮活動活性化ビジネス促進事業」に選ばれています。こうした環境負荷を低減する車検・整備の具体化が、いろいろなところで進んできています。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp

株式会社 NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201